

長洲町を明るくする運動発表会

ながす未来館文化ホールで、法務省主催の全国的な運動である「社会を明るくする運動」の啓発活動として、「長洲町を明るくする運動発表会」を開催しました。本年度は、地域で社会貢献活動を行っている団体による発表会が行われました。発表した8団体を紹介します。

長洲中学校

「地域と共に津波避難訓練」

「私たちができること」

長洲中学校では、平成27年度から地域住民と協力して合同避難訓練を開催しています。これは、「地域と共に体験的な学習ができないか」と思う学校と、「防災講演だけでなく実際の訓練が必要では」と思う地元の見解を聞いて「先生の指示に従うだけの避難でよいのか、自分たちは逃げるだけでよいのか」という生徒の思いで開催しています。

平成27年度の訓練では、地震発生後、代表の生徒が幼稚園・保育所まで出向き、園児たちや避難してきた高齢者の手を取って一緒に中学校屋上まで避難しました。

平成28年度の訓練では、実際の地震を想定して、園児を迎えに行くのは、学校から声の届く範囲に狭め、0歳児から訓練に参加しました。ま



訓練の様子

た高齢者のためのイスを屋上にあらかじめ準備しました。

ことしの訓練では、生徒たちは一度グラウンドに避難し、その後津波警報を受けて屋上に避難することになりました。また、避難する途中に、教室からイスを屋上に運ぶことにし、座るだけでなく、SOSの文字を作るなど活用することを想定しました。

合同避難訓練以外にも、危険な地形の確認や街灯の必要場所の確認など、生徒たちに出来ることを考え、行動しています。

かみおきのす未来会議 「小さな国際交流」

上沖洲区では、(株)LIXIL有明工場のベトナム実習生20人が区内の社員寮に移り住んだことをきっかけに、平成28年6月から区民との交流をスタートしました。

交流の中心として、各種団体の代表や自治会役員で結成した「かみおきのす未来会議」が活動を行っています。

活動内容としては、

①防災（津波避難）訓練への参加
AEDを使った心肺蘇生法訓練に実習生20人が参加しました。

②上沖洲海岸の清掃作業への参加
海岸の清掃作業に参加し、奉仕作業を行いました。

③名神社秋季例大祭時の演芸奉納
地元のお祭りに参加し、ステージにのぼり、ベトナムの横笛を演奏し、祭りを盛り上げました。

④区民の土地を借りて野菜づくり
区民の空いている土地を借りて、草取りや野菜づくりをしています。

⑤ごみカレンダーによる分別・搬出
ベトナム語に翻訳したごみカレンダーでスムーズで自主的なごみ出しが出来ています。



まつりに参加する実習生たち

活動を通して、ベトナム実習生のまじめで勤勉な国民性を再確認し、地域住民、特に子どもたちに多様性や国際感覚を身につけてほしいと願うようになりました。今後も無理をせず、できることから地道に事業を企画・立案していき、安心・安全な地域社会づくりを目指していきます。

▼当日は、ベトナム実習生20人も舞台上がり、「近所の人から野菜をもらったり、ごみの分別を教えてもらったり、親切で助かっています」などの感想の発表もありました。

六栄小学校

「長洲町に笑顔の花を咲かせよう」

六栄小学校6年生は、長洲町を明るくする運動として自分たちに何が出来るかを考え、町のみなが笑顔になるような活動しようと思決めました。

活動内容は、みんなで意見を出し合い①あいさつ運動②地域に花を届ける③地域のゴミ拾いの3つに決めました。

①あいさつ運動

「朝一番の明るい光とどけます」などのメッセージカードをもって、街頭でのあいさつ運動をしました。笑顔で挨拶すれば、地域の人も笑顔で挨拶を返してくれました。

②地域に花を届ける

ひまわりを種から育て、100本の苗を学校の近所の家に配りました。また、もらった人が笑顔になるように1つ1つ手書きのメッセージを添えました。

③地域のゴミ拾い

小学校の通学路には、ペットボトルなどのゴミが散乱しています。いつもは誰かが拾ってくれていますが、今度は自分たちで拾うこと、地域の皆さんに気持ちいいな



花の苗を配りました

このような活動を通して、地域の人々の笑顔を見ることができ、自分たちもやって良かった、笑顔は大切なんだと実感しました。

また、気づいた点としては、苗を配れたのは学校の近所の家だけであって、もっとたくさんの人に苗を配って笑顔になってもらいたい。挨拶をしても返さない人がいたり、小学生でも挨拶が出来ない人がいることが気になった。ゴミは捨てない、捨てる人にならない、どうしたらゴミが減るか考えられる人間になりたいと思いました。

自分たちにできることを考えて、一つ一つ実行し、笑顔のあふれる町になるように頑張っていきたいです。

ダイナム熊本長洲店

「長洲と生きるダイナム」

ダイナム熊本長洲店は、12年前に長洲町に開店しました。開店当時より地域を明るくしたいとの思いから、ボランティア活動を行っています。ボランティアを通して、ダイナムが地域と地域住民にとってなくてはならない存在になりたいと考えています。

①のしこら祭への参加

毎年、ダイナムのキャラクター「モリスケ」と一緒にのしこら祭に参加し、金魚すくいの手伝いや、ステージ上でのパフォーマン

スで祭りを盛り上げています。普段、お店以外で会うことのない住民と一緒に子どもたちの笑顔を作れたことがとても幸せに感じています。

②清掃活動

ダイナムでは町がきれいで明るくなってほしいとの思いから、清掃活動を行っています。1回の活動でゴミ袋7つ分のゴミが集まりました。活動中に近所の住民から、「ありがとう」「がんばれ」などの声をかけていただき、達成感で満ち溢れました。



モリスケものしこら祭に参加

③熊本地震でのボランティア活動
店舗を避難場所として開放したり、景品の食料品やお菓子を配って回るなどして、いつの日かこの地震を乗り越えてまた笑顔を見れるのではないかと気持ちで活動しました。

活動を通して、大人も子どもも安心して暮らせる町、人が人を呼ぶ楽しい町を目指していきたいと思いました。そのためには地域防犯活動の呼びかけ、協力、地域清掃活動の強化、地域行事への参加、町の魅力を広く伝えていきたいと思っています。もっと多くの方に町の魅力を伝えていき、笑顔の生まれるお手伝いをしたいと思っています。

「伝統を守り、郷土に誇りを持つ」

清里小学校では、6年生の長洲駅清掃ボランティアと5年生のロコモ体操を通しての老人会との交流について発表しました。

駅清掃ボランティアは、ことしで29年目を迎えます。この清掃ボランティアは清里小の伝統であり、誇りに思っています。

掃除をはじめるときは、駅長さんに挨拶をし、クモの巣取り、窓拭き、階段清掃に分かれて行います。途中、駅の利用者にも大きな声で挨拶をします。終了後には花を渡し、駅に飾ってもらいました。



駅まで花を持っていきました



実際のロコモ体操の様子

参加した児童からは「利用者の人に元気に挨拶をしたら、ありがうと言われ嬉しかった」「駅・町をきれいにしようと思うとずっと頑張れる」などの発表がありました。

ロコモ体操を通しての老人会との交流については、地域に住んでいる人との交流を深め、違う世代のさまざまな価値観を知るために始まりました。

▼ステージ上では、ロコモ体操の発表も行われ、参加した児童からは「ロコモ体操は楽しかったです。おじいちゃん、おばあちゃんと仲良くできたからよかったです」「地域の皆さんとたくさん交流できてうれしかったです」などの意見が発表されました。

「私たちのボーイスカウト」

ボーイスカウト長洲第1団は、昭和39年に発団し、これまで約1,000人のスカウトを輩出しています。主な社会貢献活動として、子どもの目線からの公園遊具点検や、環境美化活動、敬老会や町民体育祭など各種イベントでの貢献活動のほか、毎年9月のスカウト奉仕の日の清掃活動など、ボーイスカウトのモットーである「そなえよつねに」とスローガンである「日々の善行」のもとに行っています。

ボーイスカウトの活動は、遊び仲間で作られた、年の差がある集団で行う小グループ活動です。仲間の中から班長が生まれ、班長としてのリーダーシップが育ちます。一人一人に班活動の役割を分担することで、自分で考え自分で行動する活動をしています。自然の中で遊びな



幅広い年代で活動しています



屋外でもたくましく

がら、さまざまな体験をし、その体験が大人になっても社会に役立つ知識・行動として身に付きます。活動を通して得られるものはたくさんありますが、特に「生きる力を養う」という事ができます。ボーイスカウトの活動には、自ら考え行動する「自主性」、仲間と力を合わせて乗り越える「協調性」、人との関わりにも幅が広がることで培われる「社会性」などを引き出す課題が含まれています。そしてなにより現代の子どもたちに不足しつつある野外でのたくましさも培われます。

社会奉仕活動や自然の中での体験などを多く取り入れた活動を通して青少年の健全な心と体の育成に貢献したいと願っています。

みんなのうた会

「うたでつながる地域の輪」

みんなのうた会は平成22年5月に設立し、毎月第3土曜日に新山区集會場で活動しています。約2時間、明治・大正・昭和の懐かしい歌20曲程度を参加者全員で歌っています。上手に歌うコーラスでもなく、単独で歌うカラオケ形式でもなく、音痴もよし、ドラ声もOKといったところで、みんなで気持ち良く歌っています。

設立のきっかけは、世話人の大久保さん夫妻（新山区）が熊本市の子飼橋通りの喫茶店で、上手下手に係なく大声で合唱するうた会があると聞いて参加し、約2時間大声で合唱した帰り道に「ああ疲れた、腹が減った、それでもなんだか気分爽快だ」「地元の新山区でこんなうた会を始めてみようか」といったことが始まりで、地元の皆さんの協力も得て会を設立しました。

設立当初は参加者が10人に満たない時もあったが、「継続は力なり。一回でも休めば心まで折れてしましますよ」と熊本のうた仲間から激励され、続けることができました。また、暑い8月を休みにしたところ、地元の高齢者から「なんで休みにし



活動の様子

たと」とお叱りもうけました。現在では、地元新山区だけではなく、町内や大牟田市・荒尾市からも参加者があり、大変盛り上がりつつあります。

参加者には一人暮らしの高齢者が多く、「以前は何もなく、1人家に閉じこもりがちで人との会話がほとんどなかったけど、今が一番幸せ」「歌うこともいいが、休憩のときにお茶菓子を頂きながら、皆さんとおしゃべりできるのが何よりうれしいです」などの感想が寄せられています。

今後も、一人暮らしの高齢者の寄り合いの場、地域のふれあいの場としてのこの活動を引き続き続けて行きます。

長洲友の会

「わが町長洲を明るくする 長洲友の会」

長洲友の会は、地域に奉仕をしようとして平成26年に結成されました。結成のきっかけは、東日本震災時に知り合いの漁師仲間を支援したいと、町の有志80人で資金を出し合い漁船の輸送費を確保しました。この時の活動から「ボランティアをして本当に良かった」、「こんな活動をする団体が町にもあれば」との思いで、長洲友の会を結成しました。

主な活動内容としては

①点字ブロックの清掃

歩道の点字ブロックを高圧洗浄機を使って清掃しました。新山の信号から内牟田橋までの約600mを清掃しました。

②町内小中学校のプールの清掃活動

普段子どもたちでは清掃できないところを高圧洗浄機を使って、清掃を行います。

③もちつき大会

町内の幼稚園・保育園のもちつき大会を手伝っています。園児と一緒にするもちつきを会員も楽しんでいきます。

④公園ベンチ・電波時計の寄贈

長洲港にあるみなと憩い広場へ、



ベンチのペンキ塗り替えを行う会員

ベンチ10脚と電波時計を寄贈しました。また寄贈したベンチのペンキの塗り替えもしています。

⑤海岸清掃・クリーンウォーク参加毎年行われている海岸清掃・クリーンウォークに参加しています。毎年多くのごみが集まります。

⑥イベントに出店

地元のお祭りなどのイベントに出店し、売り上げの一部を町や福祉施設に寄付しています。

今後も、地域住民と交流し、ふれあい活動を増やしていきたい、町が明るくなるように一生懸命ボランティア活動を行ってまいります。